

生徒指導通信

令和8年6月4日
熊野町立熊野東中学校
生徒指導部

～自分たちの「声」で、熊野東中の未来を創ろう～

体育祭で、仲間と力を合わせて最後まで駆け抜けたあの熱気。次は、そのエネルギーを「学校生活を自分たちでより良くする」ために使う番です。6月19日（金）、今年度の生徒会活動の方向性を決める大切な会議、「生徒総会」が開かれます。

生徒総会は、単に決められた計画を聞くだけの場所ではありません。学校という「小さな社会」における「国会」のようなものです。一人一人が東中を創る主人公として、どうすればもっと楽しく、充実した学校になるかを真剣に考え、話し合う場なのです。

1. なぜ「生徒総会」が大切なのか？

「先生が決めたルールを守るだけ」の学校では皆さんの「自立する力」は育ちません。

○「自分たちの力で変えた！」という実感

「こうすれば学校が良くなる」という意見を出し、実際に形にすることで、自分たちの学校への愛着や、「自分たちの力が役に立った」という自信（自己有用感）に繋がります。

○「話し合い（合意形成）」の練習

300人以上の生徒がいれば、考え方はバラバラです。自分と違う意見の人ともじっくり話し合い、みんなが「それなら納得できる」という解決策（納得解）を見つけていく。この力は、将来社会に出たときに必ず役立ちます。

2. 総会に向けた「やり切る力」のプロセス

本番を迎えるために、これまで多くの準備を積み重ねてきました。

○各委員会の計画づくり

5月から、各専門委員会が「今年は何をやり切るか」を真剣に考えてきました。

○学級討議（6月5日）

クラスのみinnで、委員会の計画に質問や要望を出します。

○意見の整理

皆さんから出た意見は生徒会でまとめられ、「生徒会で話し合うこと」「学校にお願いすること」などに分けられました。自分のクラスで出た意見が、当日どのように扱われるのか。最後まで責任を持って見届けることが、皆さんの「やり切る力」です。



3. 東中三訓を「総会」でどう発揮するか

体育祭で見せたあの素晴らしいマナーを、生徒総会でも発揮しましょう。

【時】スタートの瞬間を大切に

チャイムと同時に会議を始めるためには、皆さんの素早い移動と準備が必要です。一人の遅

れが、全校生徒の議論の時間を奪ってしまうことを忘れないでください。

【場】 話しやすい雰囲気（空気）を創る

発言者の話を、体を向けて真剣に聴く（傾聴する）。それだけで、発言する人は「受け入れられている」という安心感を持つことができます。静かに耳を傾け、会場全体を「真剣な学びの場」にしましょう。

【礼】 相手への敬意を忘れずに

自分と違う意見が出てきても、それを否定したり笑ったりしてはいけません。「そういう考え方もあるんだな」と尊重し、建設的な話し合いをすることが、本校の「礼をつくす」姿です。

4. 「自治」のルール（限界境界）を知ろう

自由とは、何をしてもいいということではありません。学校には、生徒の皆さんだけで決められること（委員会の活動内容など）と、先生や校長先生が責任を持って判断すること（全員の安全に関わることや、施設をより良く改善するなど）があります。この「自分たちで決められる範囲」を正しく理解し、その中で全力を尽くすことが、賢い「主権者」への道です。



♥最後に：一通のメッセージ

「どうせ言っても変わらない」と思っていませんか？ そうではありません。皆さんの真剣な「声」には、学校を、そして未来を変える力があります。もし、当日の進行が上手くいかなかったり、自分の意見が通らなかったりしても、それは「失敗」ではありません。みんなで悩んで、話し合ったその「プロセス」そのものが、皆さんの大きな成長になります。

「当たり前」のもう一歩先へ。

熊野東中学校の新しい未来を！

皆さんの「声」と「参加」で創り上げましょう！

